

## ■ 委員長報告概要 ■

	令和 8 年 3 月 定例会
	総務文教常任委員会
議 案 件 名	議案第 13 号 きらら交流館再整備事業（建築主体・機械設備工事）請負契約の締結について
概 要	老朽化した宿泊研修施設であるきらら交流館を観光拠点として再整備する事業を実施するに当たり、建築主体・機械設備工事を行うための請負契約を締結するもの。公募型指名競争入札の結果、嶋田工業・アーステクノ特定建設工事共同企業体が落札者となった。
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 建築主体・機械設備工事を一括発注した背景には、埴生地区複合施設における機械設備工事の入札不調がある。不調の原因となる技術者不足への対策として一括発注を継続している。</li> <li>* 工事監理は、株式会社翔設計に委託する。</li> <li>* サウナ施設の安全性については、他施設での事故を踏まえて安全性が担保されるかを改めて検証し、専門業者と協議し、必要があれば工事期間中に設計変更等の対応を検討する。</li> <li>* 工事費は、令和 7 年 9 月時点の最新の県単価や刊行物単価を採用して予定価格を算出し、起工時点の実勢価格を反映している。</li> <li>* 工事受注者の損害保険への加入は任意であるため、市は損害保険に係る書類の提出を求めているが、委員が損害発生時の担保について指摘したところ、執行部は落札業者の損害保険加入状況を確認する方針を示した。</li> </ul>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 14 号 きらら交流館再整備事業（電気設備工事）請負契約の締結について
概 要	同再整備事業を実施するに当たり、電気設備工事を行うための請負契約を締結するもの。公募型指名競争入札の結果、中電工・富士産業共同企業体が落札者となった。
論点又は審査によって明らかになった事項など	* 質疑の報告事項は、議案第 13 号と同様である。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

## ■ 委員長報告概要 ■

	令和 8 年 3 月定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 4 号 令和 7 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込み、歳入歳出それぞれ 448 万 7,000 円を減額し、予算総額を 70 億 5,805 万 4,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*今年度末の予算上の国民健康保険基金の残高は、6 億 4,597 万 6,870 円となる。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 5 号 令和 7 年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第 3 回）について
概 要	今回の補正は、地域包括支援センター委託事業に係るシステム改修及び決算を見込み、歳入歳出それぞれ 101 万 7,000 円を追加し、予算総額を 70 億 5,192 万 5,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*さしたる質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 6 号 令和 7 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込み、歳入歳出それぞれ 3,945 万 1,000 円を追加し、予算総額を 14 億 1,479 万 8,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*本年度の後期高齢者医療保険料収納額が、予算額を上回る見込みであることから、広域連合への納付金を保険料収納額に合わせて増額するもの
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第7号 令和7年度山陽小野田市病院事業会計補正予算（第1回）について
概 要	今回の補正は、入院患者数、外来患者数等の予定量を改めるとともに、決算を見込み調整するもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>*年間延べ入院患者数を6万3,428人から515人減の6万2,913人とし、1日平均入院患者数は2人減の172人と改めた。また、年間延べ外来患者数を3,630人減の9万2,202人に、1日平均外来患者数を15人減の381人とした。</p> <p>*物価高騰や人事院勧告に伴う人件費の上昇による経費の増加が影響し、経常収支が悪化することへの対応として、一般会計からの繰入金を増加させる調整を行っている。</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第11号 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、及び関係法令の規定に基づき、児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うこども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
概 要	児童福祉法等の一部改正及びこども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令の施行に伴い、引用条文の修正について所要の改正を行うもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*さしたる質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第12号 山陽小野田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
概 要	内閣府令である乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、引用条文の修正その他所要の改正を行うもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*さしたる質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

## ■委員長報告概要■

	令和 8 年 3 月定例会
	産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第 3 号 令和 7 年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込んで調整した結果、歳入歳出それぞれ 140 万円を追加し、予算総額を 8,138 万 3,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> <li>*稼働率は令和元年度の 80%に対して令和 7 年度が 87%であり、コロナ禍前より上がっている。</li> <li>*現在行っている舗装工事により駐車可能台数が 260 台から 302 台へと増加する。</li> </ul>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 8 号 令和 7 年度山陽小野田市水道事業会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、建設改良事業の予定量を改めるとともに、収入及び諸経費について決算を見込んだ調整であり、収益的収支の収入では、受取利息等を 564 万 8,000 円増額し、収入総額を 16 億 5,940 万 1,000 円とし、支出では、人件費、動力費等を 1,031 万 2,000 円増額し、支出総額を 15 億 4,020 万 1,000 円とするもの。資本的収支の収入では、国の補正予算における国庫補助金の配分に伴う事業の実施により企業債、補助金を 3 億 1,916 万 2,000 円増額し、収入総額を 9 億 197 万 7,000 円とし、支出では、建設改良費を 2 億 8,567 万 7,000 円増額し、支出総額を 16 億 6,003 万 3,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> <li>*収益的収入の増額は受取利息や事業の繰上げで増額となった工事費の仕入れ控除による消費税還付である。</li> <li>*企業債は建設改良工事の繰上げにより増額となっている。</li> </ul>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 9 号 令和 7 年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第 3 回）について
概 要	今回の補正は、収入及び諸経費について決算を見込んだ調整であり、収益的収支の収入では、受取利息等を 260 万 2,000 円増額し、収入総額を 3 億 4,625 万 2,000 円とし、支出では、人件費を 29 万 1,000 円増額し、支出総額を 3 億 4,230 万 9,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*西部石油撤退による契約終了に伴う県に支払う資本費負担金があり、例年より負担金が増額しているが、ほぼ同額を西部石油から支払ってもらっている。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 10 号 令和 7 年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算（第 3 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ動力費及び企業債利息の減額並びに社会資本整備総合交付金の内示額の減額及び大規模下水道管路重点調査等事業の配分に伴う事業の実施による事業費の調整であり、収益的収支の収入及び支出を 3,026 万円減額し、収入総額を 19 億 8,500 万 1,000 円、支出総額を 19 億 3,569 万 3,000 円、資本的収支の収入及び支出を 3 億 6,292 万 6,000 円減額し、収入総額を 11 億 3,158 万 8,000 円、支出総額を 19 億 4,084 万 3,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*国からの指示により大規模重点調査を行ったが、速やかな対応が必要とされる緊急度 1 の判定が出た箇所はない。 *今後老朽化が進む施設についてはストックマネジメント計画に基づいて修繕などを行っていく。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

## ■ 委員長報告概要 ■

		令和 8 年 3 月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	議案第 2 号 令和 7 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 12 回） について	
概 要	今回の補正は、高齢者福祉施設等整備補助事業、生活保護費追加給付事業、国県支出金の精算に伴う償還金等の取り急ぎ措置すべき案件に加え、決算を見込んで調整した結果、歳入歳出それぞれ 13 億 1,614 万円減額し、予算総額を 368 億 6,829 万 6,000 円とするもの	
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>【歳出】</p> <p>○3 款 民生費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 項 3 目 高齢者福祉費 負担金、補助及び交付金 1 億 2,450 万円の増額 市内の介護施設が事業を廃止することに伴い、その介護施設を有償で譲り受け、事業を承継する法人に、市が施設整備費用として補助金を支出するもの (主な質疑) * 「どこからどこに事業承継されるのか」との質疑に「医療法人早川内科医院から社会福祉法人健仁会が承継される」との答弁</li> </ul> <p>○7 款 商工費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 項 1 目 商工総務費 負担金、補助及び交付金 1,801 万 7,000 円の減額 主に、市内を運行するバス路線維持のため支出しているバス運行事業者に対する補助金について、決算額を見込み減額するもの及びキャッシュレス決済機器導入費用の一部を負担する補助金について減額するもの 積算より事業費が減少したことと予算編成時に市の負担金割合が 8 分の 1 から 12 分の 1 に変更になったことで、キャッシュレス機器の一部負担が減額となった。 (主な質疑) * 「利用が増えて市の負担が減ったのか、それとも別の要因があったのか」との質疑に「このうち 1,670 万 9,000 円の減額については、市内の大部分を運行している船鉄バスが令和 6 年 10 月からかなりの減便となったため減額となった赤字補填 900 万円分と、いとね号とねたろう号のリース料の支払いが予算内で収まったため減額となった 770 万 9,000 円分である」との答弁 * 「市の負担割合を 8 分の 1 から 12 分の 1 に変更した理由は何か」との質疑に「他市の予算状況を鑑みて調整した」との答弁</li> </ul>	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	